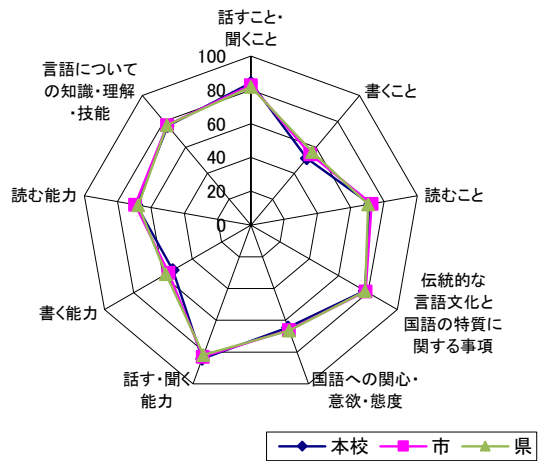


宇都宮市立桜小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	84.2	82.9	81.8
	書くこと	51.5	54.8	56.5
	読むこと	71.8	72.6	70.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.9	78.4	78.1
観点	国語への関心・意欲・態度	64.4	66.0	66.4
	話す・聞く能力	84.2	82.9	81.8
	書く能力	53.2	56.3	57.9
	読む能力	68.7	69.5	67.6
	言語についての知識・理解・技能	76.6	77.2	77.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話す力、聞く力は市・県の平均を上回っている。 ●意見の共通点を整理しながら聞く力は、十分に身に付いていない。	・話し方や聞き方のポイントを使って、意識して話し合う機会を多く設ける。
書くこと	○自分の考えが明確になるように具体的に文章を書ける児童が70%いる。 ●条件に合わせて文を書くことができる児童がいる反面、約20%の児童が無回答だった。 ●情報をもとに文章を書き表すことができない児童が約40%いる。	・無回答の児童に対しては型を示すことで苦手意識を無くすような指導が必要。 ・文章を書く機会を増やして書くことへの抵抗を減らしていく。
読むこと	○文学的文章、説明的文章ともに、おおよその内容を理解することはできている。 ●段落のまとまりとして、内容を的確に読み取ることができない。	・読書指導を継続するとともに、文章を読み取る学習も継続する必要がある。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○言語事項については、県や市の平均とほぼ同じであり、身に付いている児童が多い。 ●書きについては70%ができているが、無回答が10%いる。 ●文の構成について理解できていない児童が50%いる。	・主語・述語・修飾語・漢字の反復練習を継続し、習熟を図る。